



# MacProby

©1996, Tomohiko Shimizu as pooh, ALL RIGHTS RESERVED.

ソフト名 : MacProby 3.4 マック関連情報取得ツール (ppc)

配付方法 : シェアウェア (¥1,500 /シェアウェア送金代行サービス#1857)

転載方法 : 転載可 事前にメールにて許諾

作者 : 清水 友彦 / MHF00152

掲載者 : 同 上

動作環境 : MacOS 8 以上の日本語を表示可能なシステム環境

開発環境 : Power Macintosh G3 MT 266 (MacOS 8.5 日本語版)

開発言語 : CodeWarrior IDE 3.1 (Pro3)

圧縮方法 : StuffIt Deluxe 4.5 自己解凍ファイル

汚染対策 : Norton AntiVirus 5.0.1

コメント :

MacProby は、ご使用になっているシステム環境が秘めている様々な諸機能の内容を確認したり  
トラブル時の情報入手やユニークなキーワードでファイル検索したりできる Cool なユーティリ  
ティです。

< 主な機能 >

- (1) 使用中のマックに関する豊富な情報表示機能を 16 種類サポートしています。
- (2) ユニークな 12 種類のキーワードによるファイル検索機能をサポートしています。
- (3) トラブル時に有効なシステムエラー内容の解説, P R A M 情報等を提供します。
- (4) あると便利なツール機能を 7 種類サポートしています。
- (5) 数多くのアップル社による最新テクノロジーに対応しています。

1996,1997, 1998 Tomohiko Shimisu as pooh,ALL RIGHTS RESERVED.

## 1.操作概要



MacProby では、ウィンドウ上部に位置するアイコンボタンで表示する画面(以下 ビュー)を切り替えることができます。また、ファインダ上で MacProby のアイコンに任意のファイルをドラッグする方法や Macintosh Drag & Drop 機能を利用してビューに直接ドラッグする方法で目的の情報を迅速に表示する機能もサポートしていますが、これらの詳細については別項「情報の取得方法」を参照して下さい。

MACS (マック基本情報) : お使いになっているマックに関する基本的な情報と内部回路に実装されているハード面のサポート状況を確認できます。

PRAM (Parameter RAM 情報) : マックの動作に必要な情報が保存されている PRAM の内容を表示します。

GEST (拡張機能サポート情報) : コントロールパネルや拡張機能ファイルをインストールすることにより提供される追加機能のサポート状況を約 140 種類にわたり確認することができます。

FUNC (特定機能情報) : 「サウンド情報」, 「スピーチ情報」, 「Codec 情報」, 「ムービーファイル情報」, 「NuBus 情報」, 「Disk Drive 情報」, 「シリアルポート情報」, 「コンポーネント情報」, 「ATA Driver 情報」, 「搭載プロセッサ情報」計 10 種類に関する詳細の情報を把握できます。

SCPT (World Script 情報) : アップル社の国際化戦略の要のひとつである World Script に関する情報を表示します。

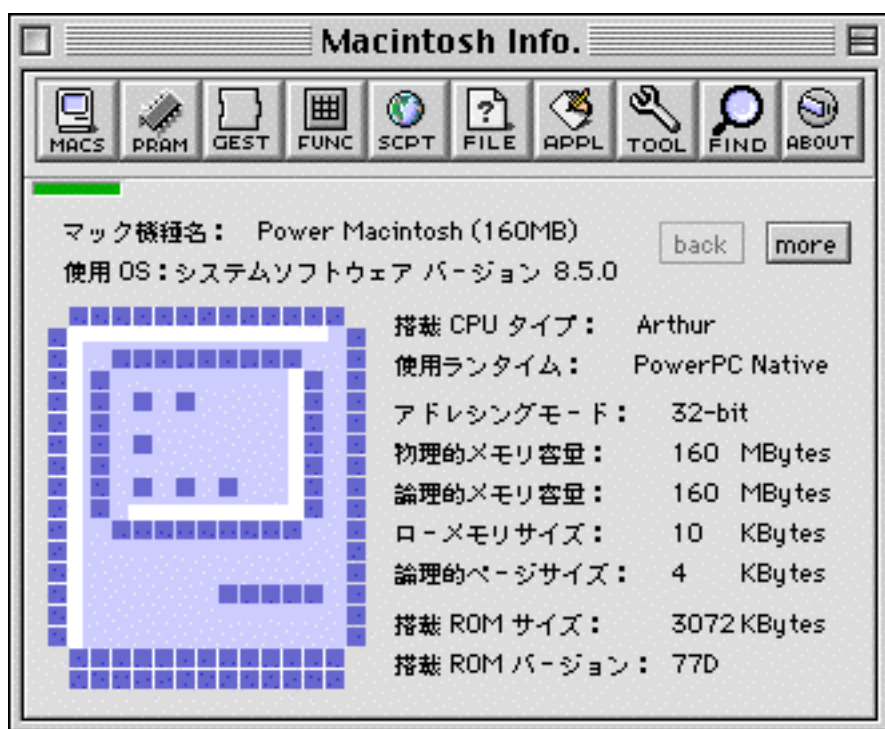
FILE (ファイル関連情報) : 特定のファイルに関する基本的な情報に加えて、ファインダ上のファイル属性の変更、ファイルを扱うことができるアプリケーションの保存場所の確認などを行うことができます。

APPL (アプリケーション情報) : 特定のアプリケーションに関する基本的な情報に加えて、ファインダ上のファイル属性の変更、アプリケーションがサポートする諸機能の内容等を確認することができます。

TOOL (ツール) : 「プロセス状況の把握」, 「バッテリー状態の把握」, 「オーディオ状態の把握」, 「システムエラー内容の把握」, 「ビデオ状態の把握」, 「スクリーン画面の撮影」, 「ダイエット機能」, 「MacProby の動作設定」, 「ネットワーク導通確認」, 「ネットワーク経路確認」 計 10 種類のユーティリティをサポートします。

FIND (検索機能) : 「ファイルタイプ」, 「クリエータ」, 「リソースタイプ」, 「アップル ガイド」, 「アップル スクリプト」, 「テキスト内部」, 「ピクチャ内部」, 「不要ファイル」, 「提供形式」, 「ファイル属性」, 「空ファイル」, 「その他ファイル」, といった条件で、接続されているすべての記憶媒体を対象に検索します。また検索した後、該当ファイルの保存場所の確認、オープンが可能です。

## 2. マック基本情報 (MACS) \*レポート機能対応ビュー



--- 1 ページ目の表示内容 ---

マック機種名：お使用になっているマックの機種名と実装メモリ容量

使用 OS：インストールされているマック OS のバージョン

搭載 CPU タイプ：実装されているプロセッサタイプ

使用ランタイム：68K モードか Power PC Native モードかを表示

アドレッシングモード：使用しているメモリ管理モード 24-bit / 32-bit のいずれかを表示

物理的メモリ容量：実装されている実メモリ容量

論理的メモリ容量：実メモリ容量および仮想メモリ容量

ローメモリサイズ：システムが利用する低位に位置するシステムグローバル領域等のサイズ

論理的ページサイズ：メモリのページングサイズ

搭載 ROM サイズ：実装されている ROM の容量 最近の機種では 4MB タイプを搭載しているが、PowerPC 環境では 68K emulator 部分の 1MB を差し引いて表示する場合がある。

搭載 ROM バージョン：実装されている ROM のバージョン

--- 2 ページ目の表示内容 ---

VIA1 : Versatile Interface Adapter 1 多用途インターフェースアダプタ 1  
VIA2 : Versatile Interface Adapter 2 多用途インターフェースアダプタ 2  
RBV : RAM-Based Video  
ASC : Apple Sound Chip  
SCC : Serial Communications Controller シリアルコミュニケーションコントローラ  
OSS : Operating System Support chip  
Fitch memory Controller : Fitch memory Controller  
SWIMIOP : Super Integrated Woz Machine Apple Super Drive 用コントローラ  
IWM : Integrated Woz Machine ディスク制御用カスタムチップ  
PWM : サウンド出力用コンバータ ステレオパルス幅変調信号生成  
RAM Sound buffer サウンド用バッファ  
DAC : Video D/A Converter ビデオ デジタル/アナログ コンバータ  
SCSI : Small Computer System Interface SCSI コントローラ  
53C80 SCSI DMA : 53C80 SCSI Direct Memory Access SCSI コントローラチップ  
Internal 53C96 SCSI 内装非同期 SCSI SCSI Manager 4.3 対応  
External 53C96 SCSI 外部非同期 SCSI SCSI Manager 4.3 対応  
PGC : parity control パリティコントロール  
DAFB Video : Direct Access Frame Buffer  
Singer sound chip : 16-byte digital sound chip 16 ビットデジタルサウンド codec  
AWAC : Audio-Wave Amplifier/Converter 音声波形増幅器およびコンバータ  
IPC : 不明  
Software power off ソフトウェア制御による電源停止機能

--- 3 ページ目の表示内容 ---

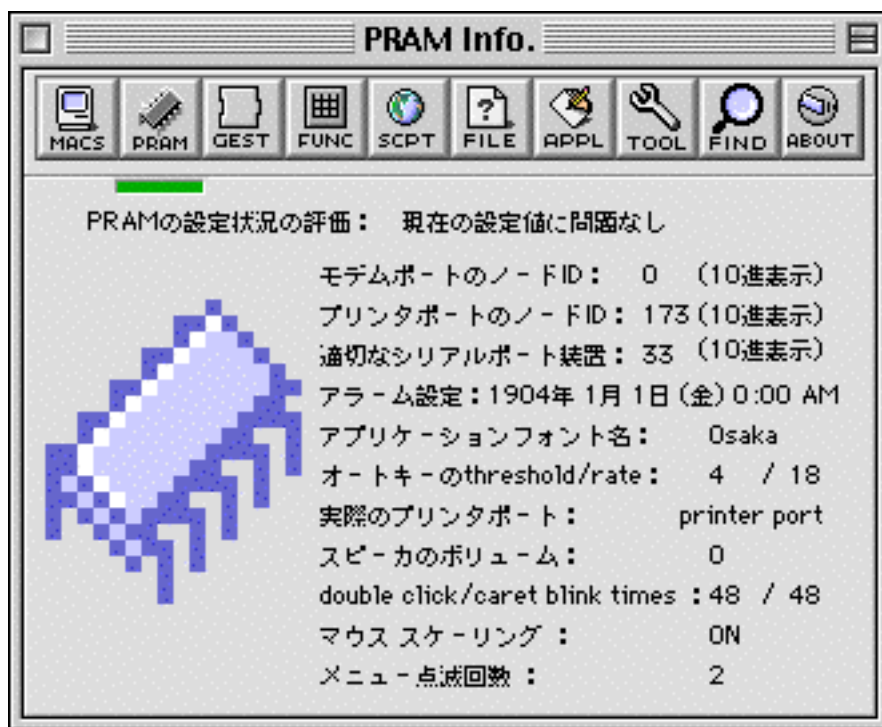
Philips TV tuner : Philips FL1236F ビデオチューナーをサポート。  
Sound Fader chip : Philips TEA6330 Sound Fader chip をサポート。  
Closed Captioning : Philips SAA5252 Closed Captioning をサポート。  
InfraRed Remote Control : CyclopsII Infra Red Remote Control をサポート。  
Video Decoder / Scaler : Philips SAA7194 Video Decoder / Scaler をサポート。

Sony stereo decoder : Sony SBX1637A-01 stereo decoder をサポート。  
Power Mgr stop SCC : Power Manager が SCC clock 停止をサポート。  
Power Mgr dispatch : Power Manager dispatcher が準備されている。  
AMU : Apple Memory Unit  
68851 MMU : 68851 Memory Management Unit  
built-in 68030 MMU : 実装 68030 Memory Management Unit  
built-in 68040 MMU : 実装 68040 Memory Management Unit  
Emulated MMU type 1 : Emulated Memory Management Unit type 1  
Standard IIC : 標準 Inter-Integrated Circuit Bus をサポート。  
Combined format IIC : Combined format Inter-Integrated Circuit Bus をサポート。  
Extended IIC : Extended Inter-Integrated Circuit Bus をサポート。  
Multiple bus master IIC : Multiple bus master Inter-Integrated Circuit Bus をサポート。  
General Call IIC : General Call Inter-Integrated Circuit Bus をサポート。  
Fast IIC : Fast Inter-Integrated Circuit Bus をサポート。  
Asynchronous SCSI : 非同期 SCSI をサポート。  
Async SCSI is in ROM : ROM 内で非同期 SCSI をサポート。  
Slot-style PRAM SCSI : ROM 内で SCSI boots に伴うスロットスタイルの PRAM をサポート。

--- 4 ページ目の表示内容 ---

Processor clock speed (PowerPC) : 搭載 CPU クロック速度 MacOS 7.5.2 & PowerPC  
Bus clock speed (PowerPC) : 搭載バス クロック速度 MacOS 7.5.2 & PowerPC  
Type of hardware used for serial I/O : 搭載シリアルの種類 TNT 以降が latest, その他は classic  
Go to Document folder : 一般設定にて書類項目で書類フォルダを選択している。  
Go to last used folder : 一般設定にて書類項目で最後に使用したフォルダを選択している。  
Protect System folder : 一般設定にてシステムフォルダを保護している。  
Hide desktop : 一般設定にてバックグラウンドでデスクトップを表示しないよう設定している。  
Display Launcher on startup : 一般設定にてシステム起動時にらランチャーを起動するよう設定。  
Warn on incorrect shutdown : 一般設定にて不適当にシステム終了した際警告するよう設定している。

### 3 . PRAM 情報 (PRAM) \*レポート機能対応ビュー



PRAMとは、マック本体の電源を切っても専用の内蔵電池で内容が保持されている特別なメモリ領域を意味します。保存されている主な内容は、日付時間、起動ディスクの番号、ビープ音の大きさなどです。同領域の内容に誤りがあるとマック自身の動作に影響を与え、原因不明の不調を示す恐れがあります。PRAM情報の表示において、PRAMの状態に関する総合評価で問題がある旨のメッセージが確認された場合には、マック起動時に「コントロールキー」+「オプションキー」+「Pキー」+「Rキー」を同時に押してPRAMの内容を一旦クリアにすると良い場合があります。但し、一旦PRAMの内容をクリアすると、ハイライト色の設定などもクリアされてしまいますので、クリアする際は、最寄りの詳しい方に相談されてから実行した方が良いかもしれません。

--- 表示内容の解説 ---

表示内容はPRAMに保存されている一部の内容に限られています。

PRAMの設定状況の評価: PRAMの保存内容に関する総合的な評価を表示

モデムポートのノードID: モデムポートのAppleTalk node ID

プリンタポートのノードID: プリンタポートのAppleTalk node ID

適切なシリアルポート装置: どの装置がシリアルポートを使用しているかを示す

アラーム設定 : アラームの設定日付時間 初期値は 1904 年 1 月 1 日 0:00AM

アプリケーションフォント名 : アプリケーション用フォント名

オートキーの threshold / rate : キーボード上のキーが押された後の連続押下間隔の値

実際のプリンタポート : プリンタが接続されているポート名

スピーカのボリューム : スピーカ音量の設定値 0 (無音) - 7 (最大)

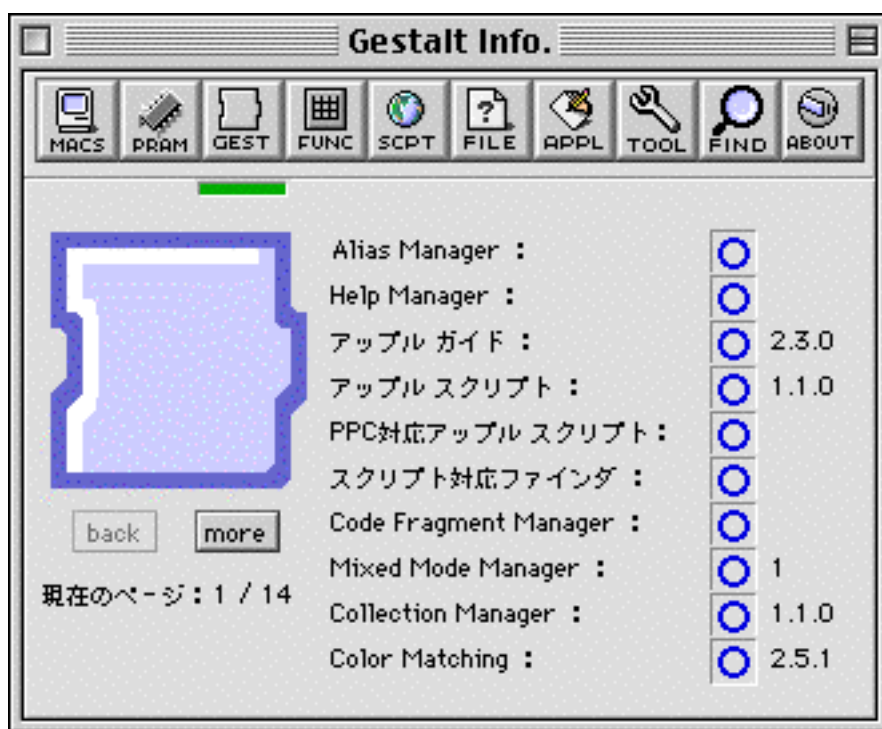
double click/caret blink times : ダブルクリック認識間隔およびキャレット点滅間隔 (Tick 単位)

マウス スケーリング : マウスが移動したかを判定 (ON の場合 1tick 間隔で通常 6pixel の移動)

メニュー点滅時間 : メニュー項目が選択された際の点滅回数



## 4 . 拡張機能情報 (GEST)



MacOS 7.0 以降、ユーザ自身が利用する機能を選択することでシステムの肥大化を出来るだけ回避する措置がとられるようになりましたが、一方で使用したいソフトと実際のシステム環境の整合性を確認することが次第に困難になってきたように思えます。実際、MacProby 自身も機能によっては、特定の拡張機能を利用しなければ情報を表示できないものもあります。

GEST ビューでは、こうした拡張機能のサポート状況を的確に把握することが可能です。

--- 1 ページ目の表示内容 ---

Alias Manager : エイリアス機能をサポートし、MasOS 7.0 以降は標準でサポートされています。

Help Manager : バルーンヘルプ、ガイド機能を管理します。

アップル ガイド : アップル ガイド機能を提供します。 MasOS 7.5 以上

アップル スクリプト : アップル スクリプト機能を提供します。 MasOS 7.1 以上

PPC 対応アップル スクリプト : PowerPC Native 環境対応のアップル スクリプトがインストール済。

スクリプト対応ファインダ : スクリプタブルなファインダとなっている。

Code Fragment Manager : PowerPC Native なコードを扱うパワーマック環境の要のひとつ。

Mixed Mode Manager : 異なるインストラクションセットアーキテクチャを扱う機能。

Collection Manager : QuickDraw GX 環境に必要なマネージャのひとつ。

Color Matching : ColorSync 拡張機能がインストールされている。

--- 2 ページ目の表示内容 ---

Dictionary Manager : Input Method (ことえり等) が利用する各種辞書を管理するマネージャ。

Display Manager : ディスプレイ装置をコントロールするマネージャがインストールされている。

Drag Manager (Drag&Drop) : † Macintosh Drag & Drop をサポートしている。

PPC 対応 Drag Manager : PowerPC Native 環境対応の Drag & Drop がインストールされている。

Macintosh Easy Open : Macintosh Easy Open が利用可能である。

Translation Manager : Macintosh Easy Open 等が利用する同マネージャを使用可能である。

Edition Manager : 「発行と引用」機能を利用可能である。MasOS 7.0 以上。

Text Service : インライン入力機能をサポートする同マネージャが利用可能である。

TSMTE (インライン入力) : 「インライン追加機能」がインストールされている。

Notification Manager : 同マネージャが提供する機能を利用可能である。

--- 3 ページ目の表示内容 ---

Disk Cached Fonts : 「フォントキャッシュ」がインストールされている。

Power Manager : PowerBook, Duo シリーズ特有の制御を行うマネージャ。

PowerTalk (AOCE) : PowerTalk 環境が利用可能である。

PPC Toolbox : Program-to-Program Communication Toolbox が使用可能である。

Color QuickDraw : Color QuickDraw が利用可能である。MasOS 7.0 以上では標準。

QuickDraw GX : QuickDraw GX 環境が利用可能である。

Graphics : QuickDraw GX に必要なモジュールのひとつ。

Message Manager : QuickDraw GX に必要なマネージャのひとつ。

Printing Manager : QuickDraw GX に必要なマネージャのひとつ。

Component Manager : コンポーネントを利用可能である。MasOS 7.1 以上では標準。

--- 4 ページ目の表示内容 ---

(Image) Compression Manager : QuickTime が提供する画像圧縮用マネージャ。

QuickTime : QuickTime 環境が利用可能である。

PPC 対応 QuickTime : PowerPC Native 環境対応の QuickTime がインストールされている。

Apple Remote Access : アップル リモート アクセス環境が利用可能である。

Audio CD Access : 「Audio CD Access」拡張機能がインストールされている。

Speech Manager : スピーチ機能が利用可能である。

PPC 対応 Speech Manager : PowerPC Native 環境対応のスピーチ機能がインストールされている。

Temporary Memory : 一時利用可能なメモリを扱うことができる。MasOS 7.0 以上。

Connection Manager (CTB) : Communication Toolbox のモジュールのひとつ。MasOS 7.0 以上標準。

Resource Manager (CTB) : Communication Toolbox のモジュールのひとつ。MasOS 7.0 以上標準。

--- 5 ページ目の表示内容 ---

Terminal Manager (CTB) : Communication Toolbox のモジュールのひとつ。MasOS 7.0 以上標準。

World Script II : World Script II がインストールされている。MacOS 7.1(漢字 TALK)以上標準。

アップルトーク : アップルトークが利用可能である。MasOS 7.0 以上では標準。

Close Viewer : Close Viewer コントロールパネルがインストールされている。

Color Picker : Color Picker が利用可能である。MasOS 7.5 では標準。

コントロールバー : 「Control Strip」コントロールパネルがインストールされている。

Desktop Strip : 「Desktop Strip」コントロールパネルがインストールされている。

MacTCP : 「MacTCP」コントロールパネルがインストールされている。インターネット対応。

MacPPP : 「MacPPP」コントロールパネルがインストールされている。インターネット対応。

Script Manager : スクリプト用のマネージャが利用可能である。システム標準。

--- 6 ページ目の表示内容 ---

Time Manager : タイムマネージャが利用可能である。システム標準。

Database Access Mgr : データベース アクセス マネージャが利用可能である。

Realtime Manager : リアルタイムマネージャが利用可能である。

Speech Recognition : スピーチ認識機能が利用可能である。

At Easy : At Easy 環境が利用可能である。

Communications Toolbox : Communication Toolbox。MasOS 7.0 以上標準。

Digital Signature : PowerTalk のモジュールのひとつ。電子署名をサポート。

Standard Mailer : PowerTalk のモジュールのひとつ。標準メーラをサポート。  
Standard Dictionary : PowerTalk のモジュールのひとつ。標準辞書をサポート。  
Apple Photo Access : 「Apple Photo Access」拡張機能がインストールされている。

--- 7 ページ目の表示内容 ---

File Transfer Mgr (CTB) : Communication Toolbox のモジュールのひとつ。MasOS 7.0 以上標準。  
Standard NBP : AppleTalk の標準 Name-Binding Protocol が利用可能である。  
Telephone Manager : テレフォンマネージャが利用可能である。MasOS 7.5 標準。  
PPC 対応 Telephone Mgr : PPC 対応版テレフォンマネージャがインストールされている。  
Network Extension : Network Extension の Flagship が利用可能である。  
Energy Saver : 「Energy Saver」コントロールパネルがインストールされている。  
Apple Menu Options : 「Apple Menu Options」コントロールパネルがインストールされている。  
Cude Dispatch Manager : Cude Dispatch Manager が利用可能である。(LC630 専用?)  
Automated Diagnostics : Apple Personal Diagnostics の一部機能。  
拡張 Dialog Manager : 拡張されたダイアログマネージャが利用可能である。

--- 8 ページ目の表示内容 ---

Foreign File Access : 「Foreign File Access」がインストールされている。  
68K 対応 ASLM サポート : 68K 対応の Shared Library Manager がインストールされている。  
PPC 対応 ASLM サポート : PPC 対応の Shared Library Manager がインストールされている。  
File System Manager : File System Manager がインストールされている。  
Find File Extension : 「Find File」機能をサポートしている。 MasOS 7.5 以上標準  
TrackPad サポート : TrackPad を装備している。PowerBook 500 シリーズ標準実装。  
FontPatchin' : コントロールパネル「FontPatchin'」がインストールされている。  
QuickDraw Font Plus : QuickDraw Font Plus 拡張機能がインストールされている。MasOS 7.1  
QuickCam Video : 拡張機能「QuickCam Video」がインストールされている。  
Now Startup Manager : コントロールパネル「Now Startup Manager」がインストールされている。

--- 9 ページ目の表示内容 ---

Thread Manager : 疑似マルチプロセッシングが可能である。MasOS 7.5 では標準。  
PPC 対応 Thread Manager : PPC 対応版の Thread Manager がインストールされている。  
Open Transport : Open Transport を利用することが可能である。  
Open Tpt AppleTalk : Open Transport AppleTalk を利用可能である。  
Open Tpt TCPIP : Open Transport TCPIP を利用可能である。(OPT 1.0.8 では表示できず?)  
Open Tpt Netware : Open Transport Netware を利用可能である。  
Unicode : Unicode をサポートしている。  
Navigation (8.2?) : Navigation Services が利用可能である。 MasOS 8.2?  
Animation Mgr (8.2?) : Desktop Animation Manager が利用可能である。 MasOS 8.2?  
Responder : Workstation Management Agent を利用可能である。

--- 10 ページ目の表示内容 ---

QuickDraw 3D : QuickDraw 3D を利用することができる。  
QuickDraw 3D Viewer : QuickDraw 3D Viewer がインストールされている。(表示できず?)  
QuickTime Conferencing : QuickTime Conferencing を利用することができる。  
PC Card Manager : 同マネージャがインストールされている。(PowerBook, Duo シリーズ)  
PowerKey/Shutdown : 同機能が利用可能である。 MacOS 7.5.2 ?  
Dinamic volume support : Standard File Package が 20 以上のボリュームをサポートする。  
4GB file system support : 4GB 対応のファイルマネージャがインストールされている。  
2TB file system support : 4GB 以上対応のファイルマネージャがインストールされている。  
Open Firmware Info : Open Firmware Info をサポートしている。  
SoftwareFPU : SoftwareFPU がインストールされている。

--- 11 ページ目の表示内容 ---

AfterDark : AfterDark コントロールパネルがインストールされている。  
Express Modem Software : Express Modem Software がインストールされている。  
System update 7.5.3 : 次期バージョン System 7.5.3 がインストールされている。  
LaserWriter Bridge : LaserWriter Bridge がインストールされている。

InfraRed Manager : InfraRed Manager が利用可能である。(PowerBook5300 以降)

StuffIt Viewer Engine : StuffIt Viewer Engine がインストールされている。

Printing Fix : Printing Fix がインストールされている。MacOS 7.5.1 以降

SerialDMA : SerialDMA がインストールされている。SerialDMA 2.0.2 以降

RAM Doubler : RAM Doubler 拡張機能がインストールされている。

Arron : Arron 拡張機能がインストールされている。

--- 12 ページ目の表示内容 ---

Translucent drag icon : アイコンの透明化をサポートしている。MacOS 7.5.3 以降, PowerPC のみ

Control dragging alias : Control-drag でエイリアスを作成できる。MacOS 7.5.3 Secret Features

Reveal Original menu : オリジナルを探すメニューを追加する。MacOS 7.5.3 Secret Features

Command-Delete trash : Command-Delete でゴミ箱に移動する。MacOS 7.5.3 Secret Features

No zoom rectangles : ウィンドウ Zoom アニメーションを解除する。MacOS 7.5.3 Secret Features

Native Resource Mgr : PowerPC ネーティブな Resource Manager が使用可能である。

Language Manager : JLK 等の Language kits がインストールされている。

Language kits : JLK 等の Language kits がインストールされている。

Link Tool Manager : ARA の Link Tool Manager がインストールされている。

Speed Emulator : Speed Doubler 拡張機能のうち Speed Emulator がインストールされている。

--- 13 ページ目の表示内容 ---

ATA Manager : ATA Dirver をサポートしている機種であることを示します。

Desktop Printer Extension : Desktop Printer 機能を利用することができます。

QuickTime MPEG Extension : QuickTime MPEG Extension がインストールされている。

Location Manager : Location Manager がインストールされている。

FreePPP 2.6 above : FreePPP 2.6 API を使用できる PPP がインストールされている。

OT Remote Access : Open Transport Remote Access を使用することができます。

Open Transport PPP : Open Transport /PPP 機能を使用することができます

Open Transport ARA : Open Transport /ARA 機能を使用することができます

Appearance Mgr : アピアランス機能がインストールされている。(MacOS 8)

Contextual Menu : Contextual Menu がインストールされている。(MacOS 8)

--- 14 ページ目の表示内容 ---

Desktop Pictures : Desktop Pictures がインストールされている。(MacOS 8)

Extensions Manager : Extensions Manager がインストールされている。(MacOS 7.6 以降)

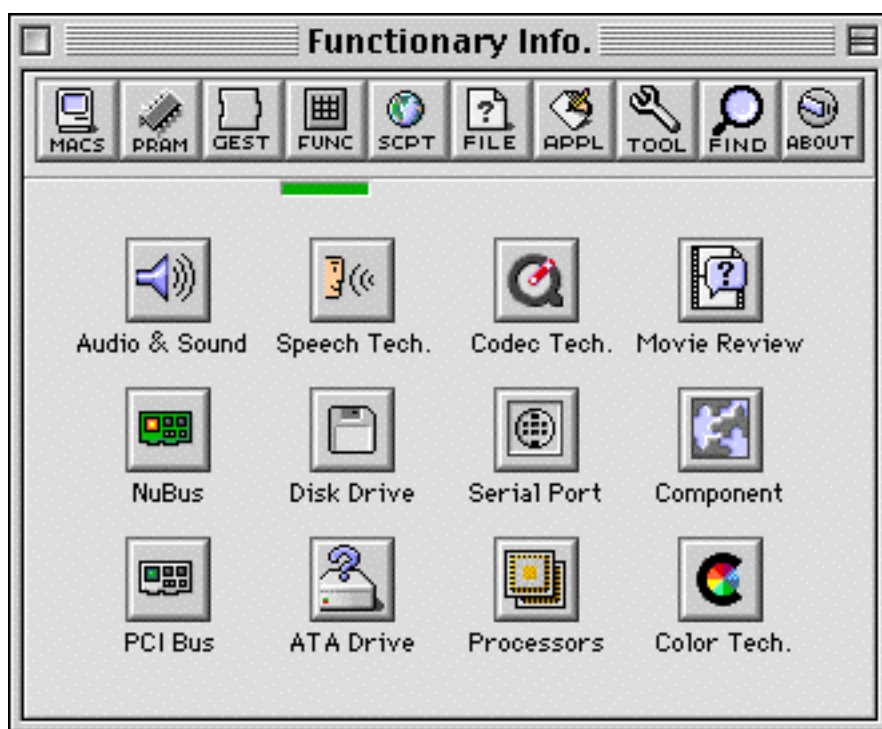
QuickTime VR : 拡張機能タイプの QuickTime VR がインストールされている。

20th Anniversary Mac : 20 周年記念マックを使用している。

ISO 9660 File Access : ISO 9660 File Access がインストールされている。

ATA Hardware : ATA 仕様のハードウェアをサポートしている機種であることを示します。

## 5 . 機能詳細情報 (FUNC)



FUNC ビューでは、特定の機能に焦点を当て、該当機能がサポートする内容を出来るだけ視覚的にとらえる構成になっています。

--- Audio & Sound ---

同アイコンボタンを押すと、お使いになっているマックが扱うことができるサウンド関連の諸機能について、サポート状況を確認することができます。

また、システムにインストールされているサウンド マネージャに関するバージョン情報や基本的な処理能力についても確認できます。

--- Speech Technology ---

同機能を利用するためには、システムに Speech Manager (PPC 環境下では PPC 対応版を含む) がインストールされている必要があります。GEST ビューで環境を確認して下さい。

同アイコンボタンを押すと、Speech Manager が管理している様々な声に関する特性を確認する



ことができます。「Voice list」に表示された声の名称をダブルクリックすると、該当の声に関する情報に切り替えることができます。

#### --- Codec Technology --- Macintosh Drag & Drop 対応ビュー

同機能を利用するためには、システムに QuickTime (PPC 環境下では PPC 対応版を含む)がインストールされている必要があります。GEST ビューで環境を確認して下さい。

Codec とは、QuickTime が提供する画像圧縮技術の総称で、目的に合わせて様々な圧縮・解凍方式がサポートされている。

同アイコンボタンを押すと、QuickTime が管理している圧縮・解凍方式に関する特性を確認することができます。「Codec list」に表示された圧縮・解凍方式の名称をダブルクリックすると、該当の方式に関する情報に切り替えることができます。

#### --- Movie Review --- Macintosh Drag & Drop 対応ビュー

同機能を利用するためには、システムに QuickTime (PPC 環境下では PPC 対応版を含む)がインストールされている必要があります。GEST ビューで環境を確認して下さい。

任意のムービーファイルに関する技術的な情報を提供する他、該当のムービーファイルを再生して内容を確認することが可能です。表示可能なトラック情報は 4 トラックまでです。

「Movie Review」の"再生"ボタンを押すとムービーを作成するためのウィンドウが表示されます。ムービーウィンドウ表示中は、「編集」メニューの全項目が使用でき、Macintosh Drag & Drop 機能をムービーに対して利用することも可能です。

なお、ムービーウィンドウは、次にムービーファイルを選択するか、ビューや機能を変更することで、自動的に消えます。

また、同機能では比較的小さなムービーを再生するようメモリを割り当てています。もし、メモリ不足などのエラーが発生したら、MacProby のメモリ割当量をファインダー上で調整した後、再度実行してみてください。

--- NuBus ---

同アイコンボタンを押すと、お使いのマックに実装されている NuBus カードに関する基本情報を確認することができます。†特に製品名欄に表示される搭載 ROM バージョンなどは、アップグレードの際に有効な情報として利用できると思います。

--- Disk Drive ---

同アイコンボタンを押すと、お使いのマックに接続されているディスク ドライブ (CD-ROM, MO, FD 等を含む)を対象に、主にソフト面の内容について確認することができます。

--- Serial Port ---

同機能を利用するためには、システムが Communication Resource Manager をサポートしている必要があります。GEST ビューで環境を確認して下さい。

同アイコンボタンを押すと、お使いのマックに実装されているシリアルポートに関するソフト面の情報が把握できます。全ての実装ポートに関する情報表示が可能です。

--- Component ---

QuickTime のリリースに伴い導入されたコンポーネント機能ですが、現在の最新システムではシステムソフトウェアに内蔵されています。GEST ビューでコンポーネントの存在を確認できない場合には、QuickTime をインストールすれば同機能を利用することができます。

また、コンポーネント形式で提供される機能の多くは、他のアプリケーションなどで直接利用することが可能です。

同アイコンボタンを押すと、Component Manager が管理している様々なコンポーネントに関する基本的な情報を確認することができます。「Component list」に表示されたコンポーネントの名称をダブルクリックすると、該当のコンポーネントに関する情報に切り替えることができます。

--- PCI Bus ---

現バージョンではサポートしていません。(次期バージョン以降提供予定) --- ATA Drive ---

MacOS が標準にサポートしている「ATA Manager」を利用して、使用中のマックに接続されている ATA 仕様の各デバイスをデバイス用ドライバから情報を取得します。

--- Processors ---

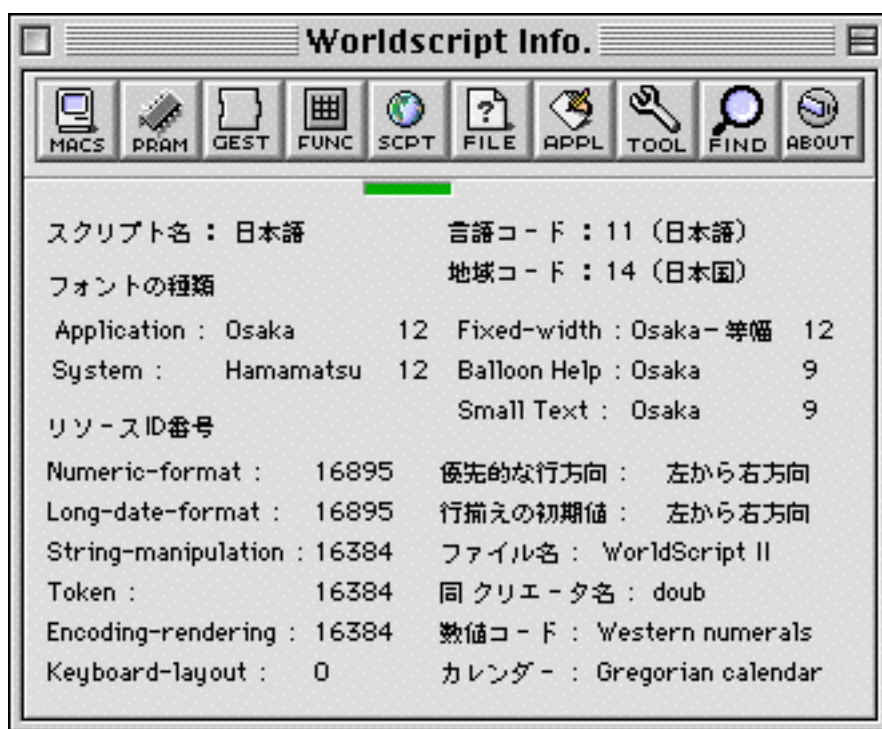
同機能を利用するためには PowerPC 環境が必要です。680x0 環境では同機能は無効になります。

MacOS 8 では「Multiprocessing Library API」が標準にインストールされています。同 API を利用して、使用中のマックに実装されているプロセッサ数を表示します。

--- Color Technology ---

現バージョンではサポートしていません。(次期バージョン以降提供予定)

## 6 . スクリプト情報 (SCPT) \*レポート機能対応ビュー



SCPT ビューでは、アップル社の国際化戦略の要のひとつである World Script に関する設定情報について表示します。Toolbox としては Script Manager が担当している機能で、システム 7 のリリース以降飛躍的に国際化対応が進められました。

--- 表示内容について ---

スクリプト名 : 現在、採用されているスクリプト名称が表示されます。

言語コード : 現在、適用されている言語名称および言語に対応したコードが表示されます。

地域コード : 現在、適用されている地域名称および地域に対応したコードが表示されます。

Application : アプリケーション上で初期値として採用されるフォント名およびフォントサイズ。

System : システム上で初期値として採用されるフォント名およびフォントサイズ。

Fixed-width : 均等幅フォントとして採用されるフォント名およびフォントサイズ。

Balloon Help : バルーン ヘルプの表示文字として採用されるフォント名およびフォントサイズ。

Small Text : 小さな文字として採用されるフォント名およびフォントサイズ。

## リソース ID 番号

Numeric-format : スクリプトが利用する数値フォーマット用リソース 'itl0' の ID 番号。

Long-date-format : スクリプトが利用する日付フォーマット用リソース 'itl1' の ID 番号。

String-manipulation : スクリプトが利用する文字処理用リソース 'itl2' の ID 番号。

Token : スクリプトが利用する token リソース 'itl4' の ID 番号。

Encoding-rendering : スクリプトが利用する encoding/rendering リソース 'itl5' の ID 番号。

Keyboard-layout : スクリプトが利用するキーボード配列用リソース 'KCHR' の ID 番号。

優先的な文字方向 : スクリプトが採用する文字表示時の優先的な移動方向。

行揃えの初期値 : スクリプトが採用する文字揃え方向。

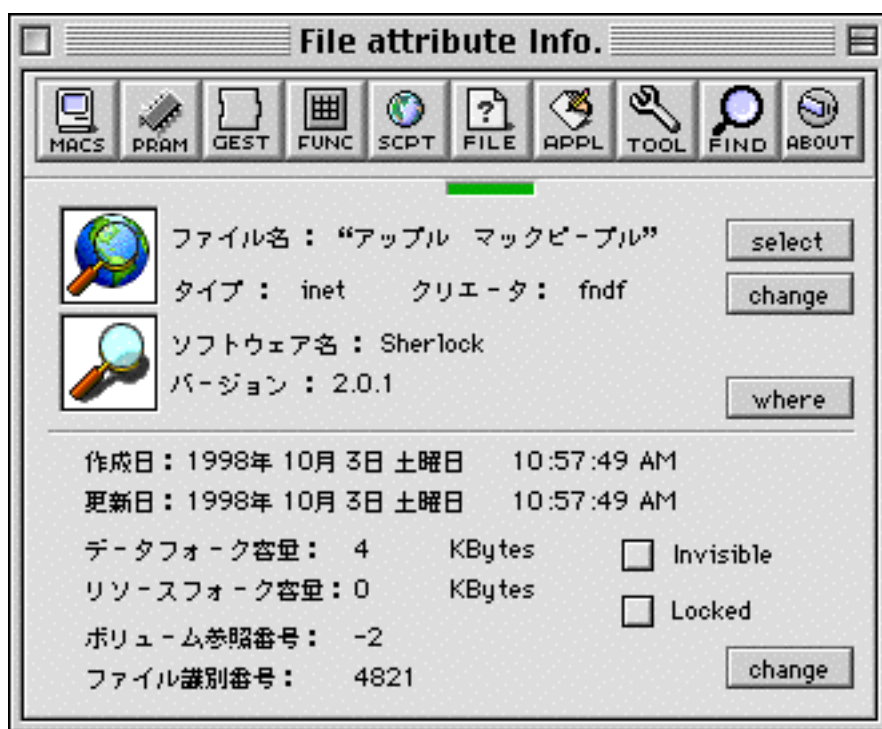
ファイル名 : スクリプト システムが記録されているファイル名。

同 クリエータ名 : スクリプト システムが記録されているファイルのクリエイータ名。

数値コード : スクリプトが使用する数値コードの名称。

カレンダー : スクリプトが使用するカレンダーコードの名称。

## 7. ファイル情報 (FILE) \*レポート機能対応ビュー, ドラッグ&ドロップ対応



FILE ビューでは、指定したファイルに関する基本的な情報を表示するのみではなく、ファインダ上の各種属性の変更や該当ファイルを扱うことができるアプリケーションの自動検索等の機能を提供しています。

以下、主な操作手順を解説します。

--- 情報を表示する ---

- 1) FILE ビュー上の「Select」ボタンを押して、任意のファイルを選択します。
- 2) 選択が完了すると、FILE ビュー上に選択したファイルのアイコン、アプリケーションのアイコンが表示されます。但し、アプリケーションが見つからない場合は、初期値の白紙アイコンが表示されます。

--- ファインダ上の属性を変更する。 ---

- 1) 情報の表示に成功すると、FILE ビュー上に2つの「Change」ボタンが新たに表示されます。

2) 上部の「Change」ボタンは、該当ファイルのファイルタイプ・クリエータを試行錯誤しながら変更することが可能です。

3) 上部の「Change」ボタンを押すと設定用の画面に切り替わります。同画面上のボタンの機能が次のとおりです。「選択」: タイプ・クリエータを半角の英数字で入力する代わりに、同ボタンを押してファイルを選択することで、選択したファイルと同様の種類を採用することができます。「トライ」: タイプ・クリエータを入力した後、同ボタンを押すと試しに種類を変更してみることができます。「変更」: 入力した設定値を実際に反映することができます。「取消」: 入力した内容を実際には反映させることなく完了させます。



4) 下部の「Change」ボタンを押すとボタン右側のファインダ属性の内容に沿ってファイルを修正します。

「Invisible」: ファイルを見えなくする。

「Locked」: ファイルをロックする。

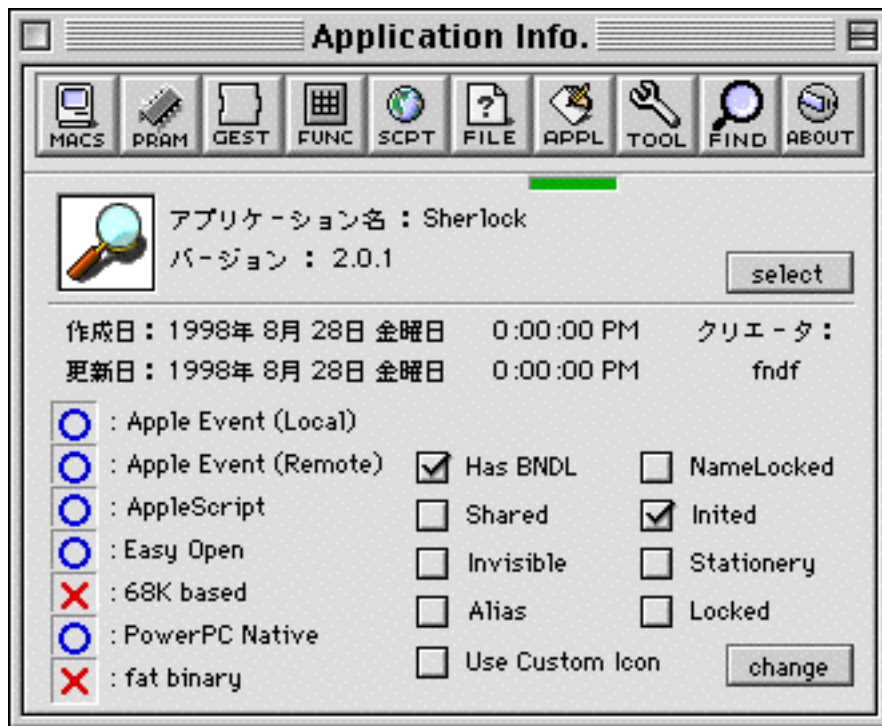
ファインダ フラグに関する知識のない方は絶対に同機能を使用しないで下さい。

--- アプリケーションを探す ---

「Where」ボタンを押すと、アプリケーションが保存されているフォルダを開くことができます。



## 8 . アプリケーション情報 (APPL) \*レポート機能対応ビュー , ドラッグ&ドロップ対応



APPL ビューでは、指定したアプリケーションに関する基本的な情報を表示するのみではなく、ファイ  
ンダ上の各種属性の変更を行う機能を提供しています。

以下、主な操作手順を解説します。

--- 情報を表示する ---

- 1) APPL ビュー上の「Select」ボタンを押して、任意のファイルを選択します。
- 2) 選択が完了すると、APPL ビュー上に選択したアプリケーションのアイコンが表示されます。

--- ファインダ上の属性を変更する。 ---

- 1) 情報の表示に成功すると、FILE ビュー上に「Change」ボタンが新たに表示されます。
- 2) 「Change」ボタンを押すとボタン右側のファインダ属性の内容に沿ってファイルを修正し

ます。

「Has BNDL」: バンドル リソースを持っている。

「Shared」: 共有可能なアプリケーションである。

「Invisible」: 見えないファイルである。

「Alias」: エイリアスファイルである。

「Use Custom Icon」: カスタムアイコンが貼り付いている。

「NameLocked」: ファイル名がロック状態である。

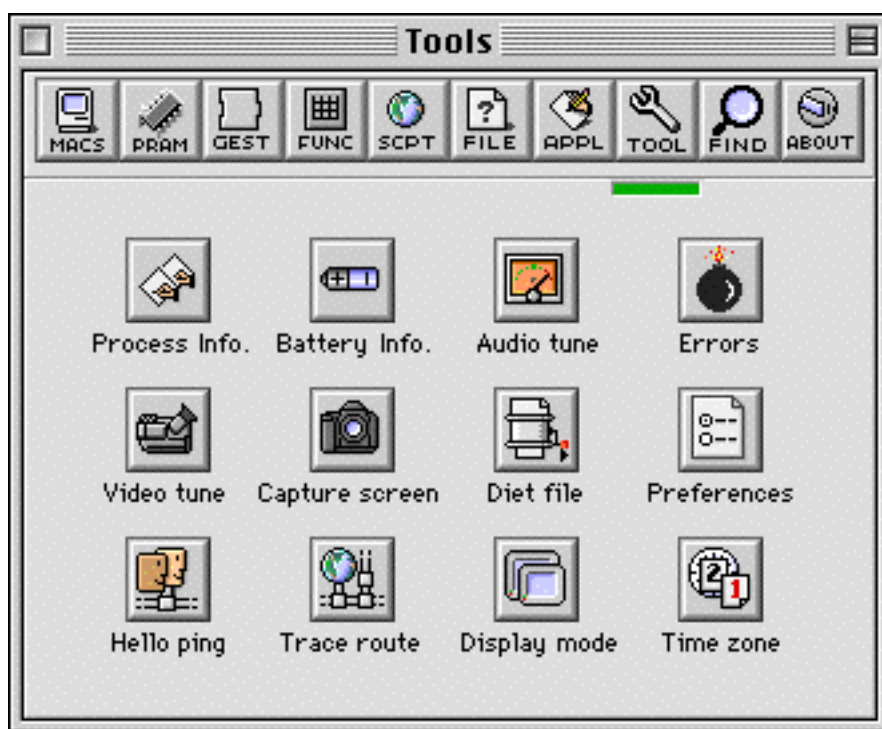
「Inited」: ファインダが該当ファイルのバンドル情報, 保存場所に関する情報を取得した。

「Stationery」: ひな形ファイルである。

「Locked」: ファイルをロックする。

ファインダ フラグに関する知識のない方は絶対に同機能を使用しないで下さい。

## 9 . ツール (TOOL)



TOOL ビューでは、各機能の情報を表示するという MacProby の基本コンセプトに加えて、ちょっとした小物のユーティリティソフト的なサービスを提供しています。

--- Process Info. ---

同アイコンボタンを押すと、現在動作中のアプリケーション(バックグラウンドのみで動作するソフトを含む)を確認することができます。「Process list」に表示されたソフトウェア名称をダブルクリックすると、該当のソフトウェアに関する情報に切り替えることができます。表示内容のうち、「使用メモリ」、「空きメモリ」、「実行時間」の3項目については、数秒間の間隔毎に表示内容を更新していますので、リアルな状況を把握することが可能です。

--- Battery Info. ---

同機能は、PowerBook, Duo シリーズ・システム 7.5.2 でのみ利用可能です。(Power Manager が必須) システム 7.5.2 ではデスクトップ機でも同機能を参照可能ですが、バッテリー情報は表示しません。また、同機能では PowerBook 500 シリーズと伴にサポートされた新しい Power Manager 環境でテストを

行っておりますので、旧機種での動作は未確認です。更に、PPC 環境では機能はサポートしていません。  
(開発環境が現時点で提供されていないため)

同アイコンボタンを押すと、現在のバッテリーレベルをはじめ、サポートしているバッテリー個数、プロセッサ速度、その他 PowerBook, Duo 特有の設定値を確認することができます。バッテリーレベル表示については、数秒間の間隔毎に内容を更新していますので、リアルな状態を把握することが可能です。

--- Audio tune ---

同機能を利用するためには、サウンド マネージャ 3.0 以上がシステムにインストールされている必要があります。FUNC ビュー内の「Audio & Sound」機能を利用して確認して下さい。

同アイコンボタンを押すと、現在のサウンド入力デバイス上の音量入力レベルをリアルタイムで確認することができるほか、サウンド入力デバイスの選択、出力レベル調整、プレースルーのオン・オフなどが可能です。現在お使いになっているマックのオーディオ機能が正常に動作するか確認する際に有効な機能かと思います。

--- Errors ---

同アイコンボタンを押すと、「サッドマックコード」, 「システムエラー」などの内容と一部原因について確認することができます。

--- Video tune ---

同機能は、AV 系マックまたは AV 機能をサポートする機構を追加したマックで利用することができます。

同アイコンボタンを押すと、ビデオ映像とサウンドの再生の他、再生中の映像およびサウンドを QuickTime ムービーとして記録したり、映像の 1 コマをピクチャとしてキャプチャする機能を提供しています。また、「video setting」, 「sound setting」ボタンを押すと、各設定値を任意に変更することが可能です。現在お使いになっているマックのビデオ機能が正常に動作するか確認する際に有効な機能かと思います。

--- Capture screen ---

同アイコンボタンを押すと、現在使用しているマックのスクリーン画面の任意の箇所を撮影することができます。撮影された内容は、ピクチャファイルとして保存されます。同ボタンを押した後、撮影したい部分をマウスでドラッグして下さい。同機能が有効な間はカーソルが+印になります。マウスを離すと、ドラッグ操作で囲まれた部分が撮影され、最後にピクチャファイルとして保存する場所を指定します。

--- Diet file ---

fat binary ファイルは、PPC と 68K 両環境で最適な動作を実現する新しいファイル形式ですが、いずれか一方の環境下のみでマックを利用する方にとってはファイル容量が肥大化する結果となります。同機能は、使用中の環境に必要な内容以外を該当ファイルから削除し、ディスク容量を経済的に活用するためのツールです。

同アイコンボタンを押すと、同ボタンの下にポップアップメニューが表示されます。同メニューから使用中の環境に適した項目を選択した後、ダイエットしたいファイルを選択して下さい。選択可能なファイルはアプリケーションのみです。ダイエットに成功すると、その結果がダイアログに表示されます。

ダイエット操作は、必ずコピーしたファイルに対し行い、ダイエット後、動作を確認してからオリジナルをディスクから削除することを強くお勧めします。

ダイエット機能では、PPC 環境でありながら Native 内容を削除しようとしたり、68K 環境下で内容を削除しようとする確認のためのダイアログが表示されます。その際、再度、操作が正当かを十分に確認して下さい。

--- Preferences ---

同アイコンボタンを押すと、MacProby の一部動作に関し任意に設定を変更することが可能です。各設定内容は、以下のとおりです。

「次回起動時にも同じ位置にウィンドウを表示する」: MacProby のウィンドウ表示位置を記録

し、毎回同じ位置にウィンドウを表示したい場合にオンにしてください。

「ファイルをドロップした時は実行後、速やかに終了する」: ファインダ上で目的のファイルをドラッグして情報を表示した場合、情報表示後、MacProby を自動的に終了させることができます。なお、FILE, APPL ビューについては、同機能をサポートしていません。

「ボタンを押した際、クリック音を鳴らす」: 主なボタンを押した際、確認音を鳴らしたい場合、オンにしてください。

「スピーチ機能を利用して音声ナビゲーションを行う」: 同機能を利用するためにはシステムにスピーチ機能 (PPC 環境下では PPC 対応版を含む) がインストールされている必要があります。GEST ビューで確認してください。ビューを切り替えた際に、確認のために音声で切り替えたビューの名称を喋ってくれます。

以下の設定は、TOOL ビュー内の「Video tune」ならびに「Capture screen」専用です。

「ムービーファイル用アプリケーション選択」: ビデオ映像を QuickTime として記録する際に作成するムービーファイルを扱うアプリケーションを指定することができます。

「ピクチャファイル用アプリケーション選択」: ビデオ映像をピクチャファイルとしてキャプチャする際に作成するピクチャファイルを扱うアプリケーションを指定することができます。また、同設定内容は、「Capture screen」機能で撮影済みの内容をピクチャファイルとして保存する際にも適用されます。

--- Hello ping ---

同機能は、Open Transport 環境でのみ動作可能です。インターネット接続を実行します。

同アイコンボタンを押すと、ネットワークの導通確認を行う "Ping" コマンドを実行する画面が表示されます。"ping 先のホスト名を入力" 欄にドメイン名もしくはアドレス (xxx.xxx.xxx.xxx) を入力後に「ping」ボタンを押下すると、計 4 回 "Ping" を飛ばして、インターネット上の導通を確認することができます。

--- Trace route ---

同機能は、Open Transport 環境でのみ動作可能です。インターネット接続を実行します。

同アイコンボタンを押すと、ネットワークの経路情報を取得する"Traceroute"コマンドを実行する画面が表示されます。"トレース先のホスト名を入力"欄にドメイン名もしくはアドレス(xxx.xxx.xxx.xxx)を入力後に"trace"ボタンを押下すると、最大 30 ルートまでの経路アドレスを確認することができます。なお、トレースを開始してから実際に経路情報がリストに表示されるまでの間、多少時間がかかりますので、予めご了解下さい。

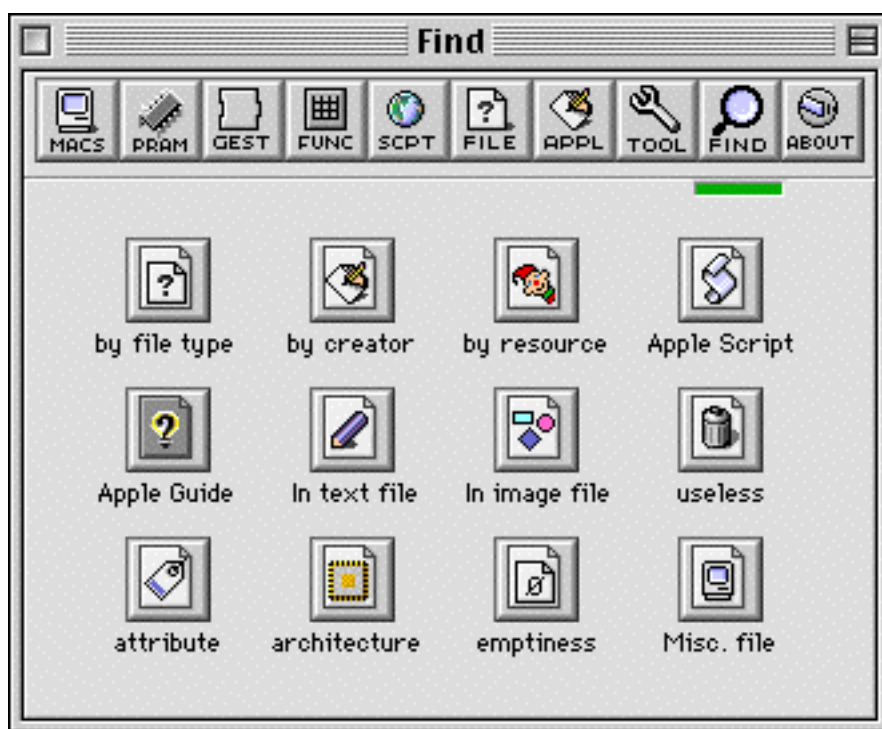
--- Display mode ---

現バージョンではサポートしていません。(次期バージョン以降提供予定)

--- Time zone ---

現バージョンではサポートしていません。(次期バージョン以降提供予定)

## 10 . 検索機能 (FIND)



FIND ビューでは、12 種類の検索条件により、接続されている記録媒体 (例：ハードディスク、フロッピーディスク、CD-ROM, MO 等)すべてを対象に検索を行うことが可能です。表示可能な検索結果件数は、最大 3000 件までです。更に、検索後、指定したファイルをオープンしたり、該当ファイルの保存場所であるフォルダを開く機能もサポートしています。なかには、かなり長時間の検索時間を要するものがあるため、検索開始後、オプションキーを押下することにより、検索を中断することができます。

--- by file type ---

同アイコンボタンを押すと、検索用の画面に切り替わりますので「ファイル タイプ」欄に半角の英数字で4文字以内のファイルタイプを入力した後、「search」ボタンを押して下さい。指定したファイルタイプのファイルを最大 1500 件までピックアップすることが可能です。

検索の結果は、左側のリストに表示されますので、リスト内のファイル名をダブルクリックすれば、該当のファイルに関する情報に切り替えることができます。また、画面下部に位置する「open」ボタンを押すと選択したファイルをオープン、「where」ボタンを押すと選択したファイルが保存されているフォルダを開くことができます。



--- by creator ---

同アイコンボタンを押すと、検索用の画面に切り替わりますので「クリエイター」欄に半角の英数字で4文字以内のファイル クリエータを入力した後、「search」ボタンを押して下さい。指定したクリエイターのファイルを最大 1500 件までピックアップすることが可能です。

検索の結果は、左側のリストに表示されますので、リスト内のファイル名をダブルクリックすれば、該当のファイルに関する情報に切り替えることができます。また、画面下部に位置する「open」ボタンを押すと選択したファイルをオープン、「where」ボタンを押すと選択したファイルが保存されているフォルダを開くことができます。

--- by resource ---

同アイコンボタンを押すと、検索用の画面に切り替わりますので「リソース タイプ」覧に半角の英数字で4文字以内のリソースタイプを入力した後、「search」ボタンを押して下さい。指定したリソースをファイル内部に持つファイルを最大 1500 件までピックアップすることが可能です。なお、検索の対象となるファイルはアプリケーションのみです。

検索の結果は、左側のリストに表示されますので、リスト内のファイル名をダブルクリックすれば、該当のファイルに関する情報に切り替えることができます。また、画面下部に位置する「open」ボタンを押すと選択したファイルをオープン、「where」ボタンを押すと選択したファイルが保存されているフォルダを開くことができます。

--- by Apple Script ---

同アイコンボタンを押すと、検索用の画面に切り替わりますので「search」ボタンを押して下さい。コンパイル済みのアップル スクリプト ファイルを最大 1500 件までピックアップすることが可能です。

検索の結果は、左側のリストに表示されますので、リスト内のファイル名をダブルクリックすれば、該当のスクリプト ファイルに関する情報に切り替えることができます。また、画面下部に位置する「open」ボタンを押すと選択したアップル スクリプトを実行、「where」ボタンを押すと選択したファイルが保存されているフォルダを開くことができます。

--- by Apple Guide ----

同アイコンボタンを押すと、検索用の画面に切り替わりますので「search」ボタンを押して下さい。コンパイル済みのアップル ガイド ファイルを最大 1500 件までピックアップすることが可能です。なお、ガイド ファイルには、メイン ガイドと mix-in ガイドの 2 種類がありますが、同機能ではメインガイドのみサポートしています。検索の結果は、左側のリストに表示されますので、リスト内のファイル名をダブルクリックすれば、該当のガイド ファイルに関する情報に切り替えることができます。また、画面下部に位置する「open」ボタンを押すと選択したアップル ガイドを開くことができるほか、「where」ボタンを押すと選択したファイルが保存されているフォルダを開くことができます。

--- In text file ---

同アイコンボタンを押すと、検索用の画面に切り替わりますので検索したい文字（半角で最大 40 文字まで入力可能）を入力するとともに、テキストの作成アプリケーション名を画面上のポップアップメニューから選択した後、「search」ボタンを押して下さい。検索対象の文字が含まれているテキストファイルを最大 1500 件までピックアップすることが可能です。

検索は、データフォークにテキストが格納された内容を対象とし、同テキストの容量が最大 150KB までの範囲で可能です。最大容量を越える内容については、検索対象外となります。更に、検索条件は、部分一致方式を採用しており、検索文字は、大文字・小文字が完全一致する必要があります。

また、画面下部に位置する「open」ボタンを押すと選択したテキストファイルを開くことができる他、「where」ボタンを押すと選択したファイルが保存されているフォルダを開くことができます。

--- In pict file ---

同機能を利用するためには、システムに QuickTime (PPC 環境下では PPC 対応版を含む)がインストールされている必要があります。GEST ビューで環境を確認して下さい。インストールしている QuickTime のバージョンによりプレビュー画面に表示できるフォーマットの種類が異なります。

QuickTime 2.5 : JFIF/JPEG,MacPaint,Photoshop,QuickDraw Picture(PICT),QuickTime Image File,Silicon Graphics Image File,StartupScreen

QuickTime 3.0 : 上記フォーマットに加え , BMP(Windows Bitmap),GIF,PNG,QuickDraw GX  
Picture,Tatga Image file,TIFF

同アイコンボタンを押すと、検索用の画面に切り替わりますのでピクチャの表示アプリケーション名を画面上のポップアップメニューから選択した後、「search」ボタンを押して下さい。該当ピクチャファイルを最大 1500 件までピックアップし、格納されているピクチャを縮小表示することが可能です。

また、画面下部に位置する「open」ボタンを押すと選択したピクチャファイルを開くことができる他、「where」ボタンを押すと選択したファイルが保存されているフォルダを開くことができます。

--- useless ---

同アイコンボタンを押すと、検索用の画面に切り替わりますので「search」ボタンを押して下さい。「初期設定」フォルダ内の不要と思われるファイルを最大 1500 件までピックアップすることが可能です。

また、画面下部に位置する「Trash」ボタンを押すと選択したファイルをごみ箱に捨てることができる他、「where」ボタンを押すと選択したファイルが保存されているフォルダを開くことができます。

--- attribute ---

同アイコンボタンを押すと、検索用の画面に切り替わりますので以下の3つのファイル種類のうち、いずれかを選択後、「search」ボタンを押して下さい。選択したファイル種類に該当するファイルを最大 1500 件までピックアップすることが可能です。

「custom icon」: †カスタムアイコンが使用されているファイルをピックアップします。

「invisible」: 見ることができないファイルをピックアップします。

「name locked」: ファイル名がロック状態にあるファイルをピックアップします。

「sharable」: 共有状態にできるファイルをピックアップします。

また、画面下部に位置する「open」ボタンを押すと選択したピクチャファイルを開くことができる他、「where」ボタンを押すと選択したファイルが保存されているフォルダを開くことができます。

--- architecture ---

同アイコンボタンを押すと、検索用の画面に切り替わりますので以下の3つのファイル種類のうち、いずれかを選択後、「search」ボタンを押して下さい。選択したファイル種類に該当するファイルを最大1500件までピックアップすることが可能です。

「68K Application」: 68K環境専用のアプリケーションをピックアップします。

「PPC Native」: Power Macintosh 専用のアプリケーションをピックアップします。

「Fat binary」: 68K/PPC Native 両環境をサポートするアプリケーションをピックアップします。

また、画面下部に位置する「open」ボタンを押すと選択したピクチャファイルを開くことができる他、「where」ボタンを押すと選択したファイルが保存されているフォルダを開くことができます。

--- emptiness ---

同アイコンボタンを押すと、検索用の画面に切り替わりますので「search」ボタンを押して下さい。データフォークならびにリソースフォークのいずれの容量もゼロ(空ファイル)ファイルを最大1500件までピックアップすることが可能です。

また、画面下部に位置する「Trash」ボタンを押すと選択したファイルをごみ箱に捨てることができる他、「where」ボタンを押すと選択したファイルが保存されているフォルダを開くことができます。

--- Misc. file ---

同アイコンボタンを押すと、検索用の画面に切り替わりますので以下の3つのファイル種類のうち、いずれかを選択後、「search」ボタンを押して下さい。選択したファイル種類に該当するファイルを最大1500件までピックアップすることが可能です。

「エイリアス ファイル」: エイリアス形式のファイルをピックアップします。

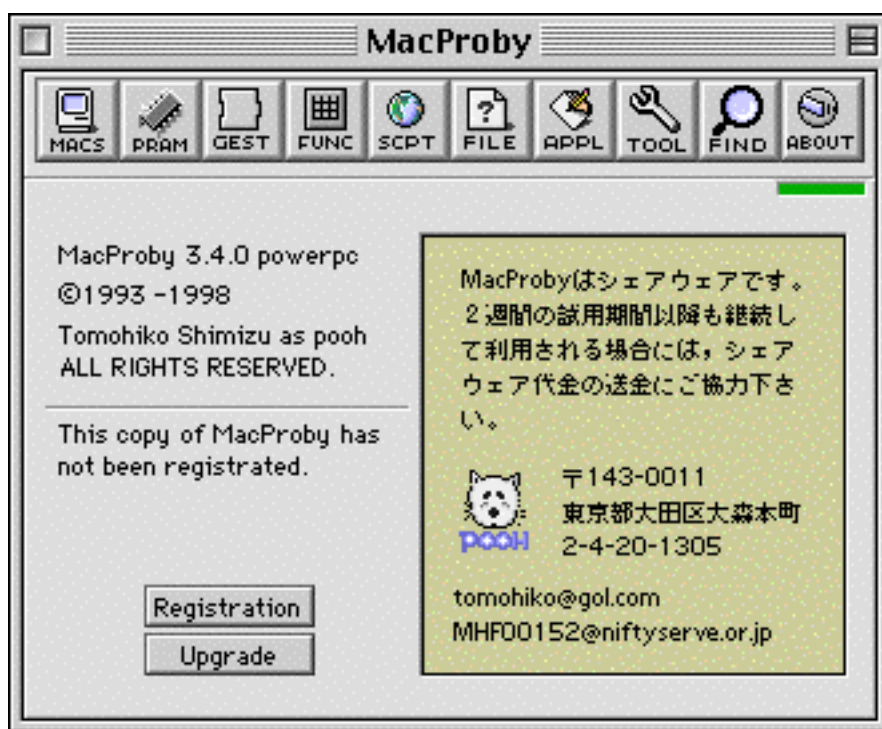
「クリッピング ファイル」: Macintosh Drag & Drop でファインダ上に作成したクリッピングファイル形式のファイルをピックアップします。

「Shared Library ファイル」: Shared Library 形式のファイルをピックアップします。

検索の結果は、左側のリストに表示されますので、リスト内のファイル名をダブルクリックすれば、該当のファイルに関する情報に切り替えることができます。

また、「where」ボタンを押すと選択したファイルが保存されているフォルダを開くことができます。

## 11 . ユーザ登録 (Registration)

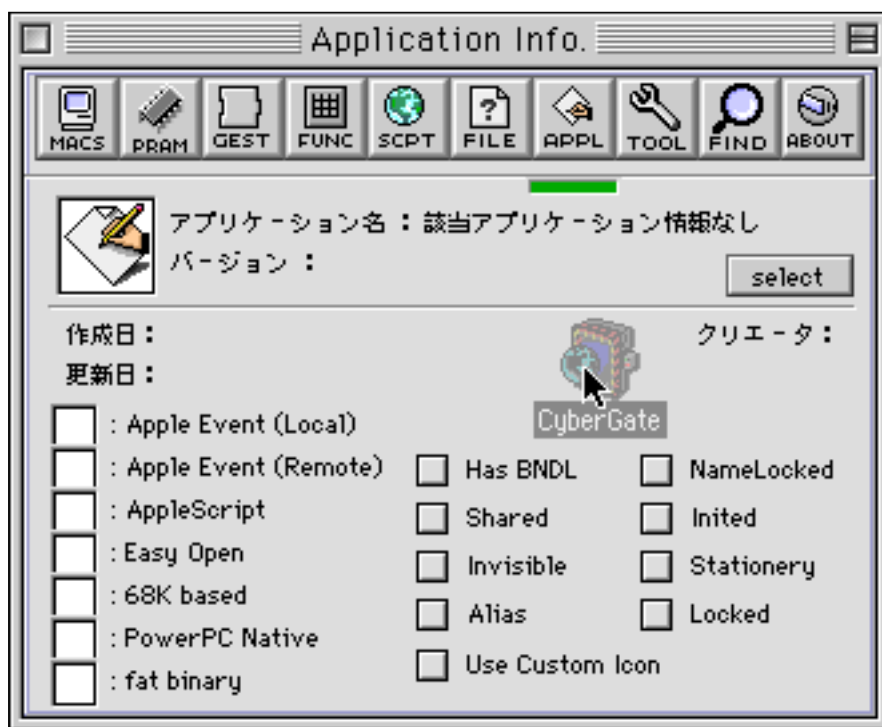


MacProby のシェアウェア制度にご協力いただきますと、折り返し正規ユーザとしてのシリアル番号をご連絡させていただきます。以下、シリアル番号の入力方法について解説します。

- 1) MacProby を起動させた後、アイコンボタンかアップルメニューの「About MacProby...」を選択し About ビューに切り替えて下さい。
- 2) About ビュー上の「Registration」ボタンを押すと上記画面が表示されます。
- 3) Name 欄には、あなたの名前を入力して下さい。半角で最大 30 文字まで入力可能です。
- 4) Serial 欄には、ご連絡したシリアル番号 (15 桁) をすべて半角で入力して下さい。
- 5) 以上の操作が完了したら、「Save」ボタンを押して下さい。ユーザ登録が完了すると、About ビューにあなたの名前が表示されます。

また「Upgrade」ボタンを押下すると、「THE POOH FILES」ホームページに直接移動するか作者に電子メールを送るための操作画面が表示されます。同ボタンは、「InternetConfig」(インターネット設定)がインストールされている場合にのみ有効になります。

## 12. 情報取得方法について



MacProby では、アイコンボタンによる情報ビュー切り替え操作の他に、ファインダ上の MacProby に任意のファイルをドラッグすることで情報を表示する方法(Droplet)と、Macintosh Drag & Drop を利用して、MacProby のウィンドウに直接ドラッグする方法があります。

また、一部のビューに対しては、取得した情報をテキストファイルとして書き出すレポート機能サービスを提供しています。

--- ファインダ上でドラッグする方法 (Droplet) ---

同方法で表示できる情報または動作は以下のとおりです。

- 1) アプリケーションをドラッグする : APPL ビューを表示したうえで情報を掲示する。
- 2) コンパイル済みアップル スクリプトをドラッグする : 該当スクリプトを実行する。
- 2) アップル ガイドをドラッグする : 該当ガイドをオープンする。

オープンできるファイルは、メイン ガイドのみで、mix-in ガイドを単独で開くことはできません。

- 4) コンポーネントファイル'thng'をドラッグする : Component Info.画面を表示する。
- 5) ムービーファイルをドラッグする : Movie Review 画面を表示する。

6) 上記以外のファイルをドラッグする：次項 6)を参照下さい。



#### Macintosh Drag & Drop 機能を利用する方法

同機能を利用するためには、Macintosh Drag & Drop がシステムにインストールされている必要があります。GEST ビューで確認してみてください。

同方法で表示できる情報または動作は以下のとおりです。

- 1) アプリケーションをドラッグする：APPL ビューを表示したうえで情報を掲示する。
- 2) コンパイル済みアップル スクリプトをドラッグする：該当スクリプトを実行する。
- 3) アップル ガイドをドラッグする：該当ガイドをオープンする。

オープンできるファイルは、メイン ガイドのみで、mix-in ガイドを単独で開くことはできません。

- 4) コンポーネントファイル'thng'をドラッグする：Component Info.画面を表示する。
- 5) ムービーファイルをドラッグする：Movie Review 画面を表示する。
- 6) 上記以外のファイルをドラッグする：

機能拡張フォルダ内に "StuffIt Engine I(バージョン 4.0 以上)"がインストールされている場合

ファイルを解凍またはデコードすることが可能です。

解凍またはデコードの対象となる圧縮ファイルは、"StuffIt"、"BinHex"、"CompactPro"、"AppleLinkPackage"、"ZIP"、"ARC"、"UnixCompress"、"UUCode"、"MacBinary"、"TAR"、"MIME" 計 11 種類です。オリジナルのファイルと同じフォルダ上に解凍またはデコード後のファイルが保存され、オリジナルは削除しません。以上のファイル以外をドロップした場合には"FILE"ビューを表示します。



機能拡張フォルダ内に"StuffIt Engine 1(バージョン 4.0 以上)"がインストールされていない場合

"FILE"ビューを表示します。

FILE ビューを表示したうえで情報を掲示する。

--- 情報をテキストファイルとしてレポートする方法 ---

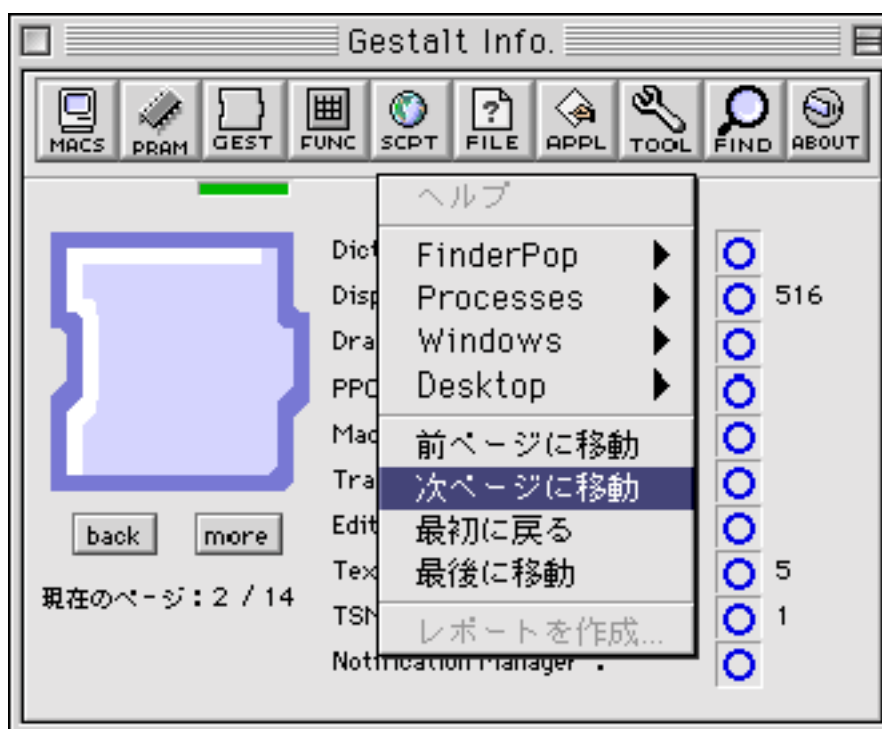
#### 1) 対象となるビュー

「MACS」の1ページ目 + インストールされている拡張機能ならびにコントロールパネル書類情報, 「PRAM」, 「SCPT」, 「FILE」, 「APPL」 以上 5種類のビュー

#### 2) 操作方法

対象になっているビューに切り替えた後、「ファイル」メニュー内の "レポート..." 項目を選択して下さい。テキストファイルを保存する場所を指定すると、レポート内容を自動的に作成します。作成されたファイルは Simple Text 等のエディタ ソフトで開くことができます。

### 13 . コンテキストメニューについて



MacProby は、独自のコンテキストメニューをサポートしています。

「コントロールキー」を押下しながら各ビューをマウスでクリックすると、それぞれのビューの状況にあった機能項目をメニューから実行することが可能です。コンテキストメニュー対応のビューは,"MACS", "PRAM", "GEST", "SCPT", "FILE", "APPL"です。

なお、FinderPop を利用している場合にも、「コントロールキー」の押下が必要です。

## 1 4 . 動作環境ならびにインストール方法

### 動作環境について

ハードウェア：PowerPC 搭載 Macintosh で動作します。

日本語・カラー表示ができるマック環境を推奨。

ソフトウェア：MacOS 8.0 以上の環境で日本語表示が可能なシステム環境。

一部の機能では、アップル社が提供する特定の拡張機能がインストールされている必要があります。また、PPC 環境では Power Macintosh 対応の拡張機能が準備されていないと動作しません。

### インストール手順について

MacProby 本体はあなたが使いやすいと思う場所に置いて下さい。

### 起動方法について

MacProby の情報取得方法には以下の 3 種類の方法があります。

- 1) MacProby 本体をダブルクリックして起動した後、任意の機能を選択する。
- 2) ファインダ上で MacProby に情報を取得したいファイルをドラッグする。
- 3) MacProby を起動後、Macintosh Drag & Drop 機能を利用して、任意のファイルを MacProby のウィンドウにドラッグする。

### 開発環境について

Power Macintosh G3 MT 266 (MacOS 8.5 日本語版)

CodeWarrior IDE 3.1, Resorcerer 2.2, ResEdit 2.1.3

## 15 . 開発履歴

--- 3.4 (1998年10月26日)

- 1) Navigation Service に対応
- 2) TOOL ビューの"Hello ping"における処理を改善
- 3) TOOL ビューの"Diet file"におけるメニュー操作を改善
- 4) PowerPC 環境に特化したコードにチューニング
- 5) 開発環境を CodeWarrior IDE 3.1(Pro3.1)に変更しコンパイル及びリンクを実行
- 6) 操作マニュアルの作成環境を Office98 に移行

--- 3.3 (1998年04月19日)

- 1) TOOL ビューにネットワーク導通確認を行う"Hello ping"を新規追加
- 2) TOOL ビューにネットワーク経路情報を取得する"Trace route"を新規追加
- 3) InternetConfig(インターネット設定)API を新規サポート
- 4) ABOUT ビューに"Upgrade"ボタンを新設

--- 3.2.1 (1998年04月05日)

- 1) FIND ビューにて"In pict file"を"In image file"に変更し画像検索内容を追加
- 2) FIND ビューの"In image file"にて QuickTime の画像処理をサポート
- 3) FIND ビューにて検索終了後にシステムエラーが発生する不具合を修正
- 4) AppleGuide ファイル検索にてファイル情報が表示できない不具合を修正
- 5) AppleGuide ファイル検索にて選択したガイドを開けない不具合を修正
- 6) MacProby 内で使用するアイコンを MacOS 8 用の 3D 表示に全て変更
- 7) QuickTime 3.0 環境にて動作確認を実施

--- 3.2 (1998年03月30日)

- 1) FUNC ビューにて"ATA Drive"機能を新規追加
- 2) FUNC ビューにて"Processors"機能を新規追加

--- 3.1 (1998年03月29日)

- 1) 各ビューにコンテキストメニューを新規サポート
- 2) MACS ビューに Arthur, Mach5, 603ev の各 CPU 情報を追加

- 3) GUET ビューの一部項目にバージョン情報を追加し, MacOS 8.1 上の不具合を修正
- 4) FinderPop 使用時にファイル選択ダイアログが不具合を生じないように対応
- 5) 次期バージョン以降の準備として"FUNC", "TOOL"に開発中の機能ボタンを配置

--- 3.0.1 (1997 年 09 月 16 日)

- 1) "OpenMacProby CMM"の起動処理を改善
- 2) "OpenMacProby CMM"用のクリッピングマニュアルを同封

--- 3.0 (1997 年 09 月 15 日)

- 1) PDF 書類によるマニュアルを同封
- 2) "OpenMacProby CMM"によるコンテキストメニューに対応

--- 3.0b4 (1997 年 09 月 14 日)

- 1) 圧縮ファイルのドロップによる解凍機能を新規追加
- 2) 圧縮ファイルの Drag&Drop による解凍機能を新規追加
- 3) Appearance Mgr への移行完了

--- 3.0b3 (1997 年 09 月 07 日)

- 1) リスト表示の一部を Appearance Mgr 対応 (移行率 95%)
- 2) Speech Mgr 関係の機能を動作確認

--- 3.0b2 (1997 年 08 月 11 日)

- 1) ビュー切替インジケータを Appearance Mgr 対応。
- 2) Battery Info ビュー内のバッテリーアイコン表示を Appearance Mgr 対応。
- 3) Audio tune ビューにおけるアップデート処理の不具合を修正
- 4) Errors ビューにおけるアップデート処理の不具合を修正

--- 3.0b1 (1997 年 08 月 10 日)

Appearance Manager への対応を開始 (移行率 70%)

--- 2.6 (1997 年 07 月 22 日)

- (1) GEST ビューにて MacOS 8 関連として 5 種類の項目を追加。
- (2) 開発環境を CodeWarrior Professional 1 に変更。
- (3) MacOS 8 にて動作確認を実施。
- (4) 情報名の表記における一部不具合を修正。
- (5) MacOS 8 の Appearance Manager に今後対応するためボタンを標準仕様に変更。

--- 2.5.4 (1997 年 03 月 10 日)

- (1) ファイル関係の処理ルーチンを 604e 環境に最適化。
- (2) GEST ビューにて 8 種類の項目を新規追加。
- (3) Universal Headers 2.1.4 に完全対応。
- (4) 開発環境を 7600/200, CW11 に変更。

--- 2.5.3 (1997 年 02 月 03 日)

- (1) MACS ビューにて PowerPC 604e に対応。
- (2) APPL, FILE ビューにてバージョン表記を詳細な内容に改善。

--- 2.5.2 (1996 年 11 月 12 日)

- (1) MACS ビューにて 100MB 以上の実装メモリ容量を表示できない不具合を修正。
- (2) MACS ビューにて MMU タイプに関する表示の不具合を修正。
- (3) MACS ビューにて一般設定に関する表示内容の不具合を修正。

--- 2.5.1 (1996 年 11 月 10 日)

- (1) シリアルポート情報で表示可能なポート数の制限を解除し、取得情報の充実化を図る。
- (2) Capture screen 機能でピクチャデータ構造の一部不具合を修正
- (3) Capture screen 機能でシャッター音を追加
- (4) 開発環境を CW10 に変更し、コンパイル・リンクを実行

--- 2.5 (1996 年 08 月 17 日) ---

- (1) バッテリー情報にて充電状況が正確に表示できなかった不具合を修正。
- (2) バッテリー情報にて複数(2 個まで)バッテリーの充電状況を個別に表示できるよう改善。
- (3) バッテリー情報にてリアルタイムでバッテリーの充電状況を表示できるよう改善。
- (4) バッテリー情報にて PowerPC 環境でも使用できるよう改善。
- (5) GEST ビュー内にて 1 2 ページ目(表示項目 1 0 種類)を新規追加。
- (6) GEST ビュー内にて一部表示の不具合を修正。
- (7) 一部の情報表示ウィンドウの背景色を変更。
- (8) プログラムの内部構造を PPC, 68K 共通コードに修正し今後のメンテを合理化。
- (9) 開発環境を最新版の CW9 に変更し、コンパイルならびにリンクを実行。

(注) 上記(1) - (4)については、68K 環境(バッテリー 1 個)でのみ動作確認を実施。

--- 2.4.3 (1996 年 06 月 30 日) ---

- (1) 開発環境を CW9 に変更し、コンパイルならびにリンクを実行。
- (2) 3D 表示のコントロールを全般的に採用。
- (3) 各データの構造体を Copland 仕様(System 8)に一部対応。

--- 2.4.2 (1996 年 03 月 15 日) ---

- 1) About ビュー切替時にウィンドウの大きさが不当に変更する不具合を修正。

--- 2.4.1 (1996 年 03 月 10 日) ---

- 1) GEST ビュー内にてバージョン情報の一部追加。
- 2) 開発環境を CW8 にバージョンアップし再コンパイル・リンカーを実行。

--- 2.4 (1996 年 01 月 14 日) ---

- 1) TOOL ビューの Errors にてタイプ 10, 11 に関する記述を詳細な内容に修正。
- 2) MACS ビュー内にて 4 ページ目の表示項目を追加。

- 3) GEST ビュー内にて 11 ページ目(表示項目 10 種類)を新規追加。
- 4) FIND ビュー内の各検索過程でカーソルアイコンを変化し処理状況を明確にする。
- 5) FIND ビュー内の各検索過程でオプションキー押下で検索中断できるよう改善。
- 6) 全てのリストにて、項目選択をダブルクリックからシングルクリックに変更。
- 7) FIND ビュー内の各リストにて、小アイコン表示を追加。
- 8) FIND ビュー内「In pict file」にて Color It! と Photoshop を新規追加。
- 9) 検索最大項目数を 3000 件から 1500 件に変更。

--- 2.3.2 (1995 年 11 月 26 日) ---

- 1) MACS ビューの情報表示に PowerPC 603e 関連を追加。
- 2) GEST ビュー内にて 10 ページ目(表示項目 10 種類)を新規追加。
- 3) GEST ビュー内の Gestalt 名称・バージョン表示の一部不具合を修正。
- 4) TOOL ビュー・Battery Info.にてシステム 7.5.2 に対応し修正。
- 5) FUNC ビュー・Sound & Audio にて開発環境変更に伴い修正。
- 6) MACS ビューにてシステム 7.5.2 に対応し修正。

--- 2.3 (1995 年 9 月 2 日) ---

- 1) FIND ビューにて初期設定ファイル内の不用ファイルを検索する「useless」を追加。
- 2) FIND ビューにてファイル属性をキーワードに検索する「attribute」を追加。
- 3) FIND ビューにてアプリケーションの提供形式をキーワードに検索する「architecture」を追加。
- 4) FIND ビューにて容量がゼロのファイルを検索する「emptiness」を追加。
- 5) GEST ビュー内にて 9 ページ目(表示項目 10 種類)を新規追加。
- 6) MACS ビュー内にて 3 ページ目の表示項目を追加。
- 7) FILE ビューのファイルタイプ・クリエータ変更結果を適切にデスクトップに反映するよう改善。
- 8) FILE ビューのファイルタイプ・クリエータ変更ウインドウ表示の一部改善。
- 9) MACS レポート機能にインストールされている拡張機能・コントロールパネル書類情報を追加。
- 10) FIND ビュー内「AppleScript」にてコメント欄が正しく表示されない不具合を修正。
- 11) FIND ビュー内の一部の検索ウインドウで続けて検索を行うと表示内容が消える不具合を修正。
- 12) FIND ビュー内「by resorce」の検索処理が正確に実行できない不具合を修正。
- 13) 検索処理全般に渡り処理効率とメモリ使用率の改善を図る。



- 14) リソースファイルの読み込み処理を改善し、安定した手続きが実行できるよう改善。
- 15) スタートアップ時にユーザ登録のお願いダイアログ表示機能 (約 2 週間毎) を追加。

--- 2.2.3 (1995 年 6 月 26 日) MacUser Japan スペシャルバージョン ---

- 1) MACS ビュー内の表記ミスを修正。
- 2) FILE ビューにてアプリケーション以外のタイプ(拡張機能,コントロールパネル)を追加。
- 3) FILE ビュー内のバージョン情報が正確に表記されるよう修正。
- 4) GEST ビュー内の表示内容のバージョン情報追加および一部不具合を修正。
- 5) GEST ビュー内にて 8 ページ目(表示項目 10 種類)を新規追加。
- 6) FUNC ビュー内にて「Speech 機能」表示ウィンドウに"喋る"ボタンを追加。
- 7) 全ての漢字 Talk7.5 環境で"MacProby Guide"の日本語表示が可能となるよう改善。

--- 2.2 (1995 年 5 月 13 日) ---

- 1) FIND ビュー内 "system relation"で該当ファイルのアイコンが正確に表示されるよう修正。
- 2) FIND ビュー内 "system relation"を "Misc. file"に名称変更。
- 3) FIND ビューにてテキスト内部まで文字検索できる「In text file」機能を追加。
- 4) FIND ビューにてピクチャの内容を検索する「In pict file」機能を追加。

--- 2.1 (1995 年 4 月 2 日) ---

- 1) マニュアルおよび MacProby 上の表記の誤りを修正。
- 2) "Video ture"でムービーファイル選択をキャンセルした後の処理を修正。
- 3) TOOL ビューにて「スクリーン画面の撮影」機能 (Capture screen) を追加。
- 4) "Video ture"でムービーファイルを作成するプロセスを正しい内容に修正。
- 5) FUNC ビューにて「ムービーフィアル情報」機能 (Movie Review) を追加。
- 6) MacProby でムービーファイルを再生する機能を追加。
- 7) MacProby のメニューを日本語化し、添付の"MacProby Guide"を同メニューに対応。
- 8) GEST ビューにて 7 ページ目 (10 種類の情報)を追加。PC Exchange -> Disk Cached Fonts に変更。
- 9) FUNC ビューにて「シリアルポート情報」機能 (Serial Port) を追加。

10) TOOL ビューにて fat binary ファイル容量をダイエツトできる機能を追加。

11) 開発環境を System 7.5.1 (System 7.5 Update 1.0)に変更。

--- 2.0 (1995年 3月 5日) ---

MacProby 1.2.1 & PowerProby 1.0 をベースに新規開発